

## 平成18年度事後評価結果（平成18年11月）

[ 研究開発課題名 ] 大容量グローバルネットワーク利用超高精細コンテンツ分散流通技術の研究開発

[ 委託機関名 ] 三菱電機 株式会社

項目	評価	総合所見
総合所見	A	<p>（技術関係）</p> <p>本研究は、高精細画像の効率的な入力システムを中核技術とし、その管理から出力まで高精細コンテンツの流通に必要な要素技術を過不足なく網羅的に研究しており、全体として統一感の高い開発研究となっている。個別の要素技術の研究成果のレベルについては全てが世界レベルにあるとは言えないものの、全体としては高い水準を保持しており、最終成果としては十分であると考えられる。</p> <p>但し、一部の成果は興味深い内容ではあるものの、まだ実用化レベルまで到達しておらず、継続的な技術開発が望まれる。また、学会や標準化等へのパブリックリターンは必ずしも十分とは言えないと判断され、今後の継続的な活動が期待される。</p> <p>（事業化関係）</p> <p>三菱電機株式会社とセラーテムテクノロジーがそれぞれの技術及び事業上の強みを生かして、高品質コンテンツの生成・管理・アーカイブ・配信を行うシステムやサービスを提供する計画であり、当該サービスに対するニーズと両社の販売実績から一定の収益納付が期待される。</p>

（注）総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。